

2024年 7月度 栃木県生協連 定例報告

1. 機関会議等

● 7月9日(火) 第1回 常務理事会

- 【議決事項】 第1号議案 「栃木県次期プラン策定懇談会」委員推薦承認の件
 第2号議案 「とちぎカーボンニュートラル実現会議」委員推薦 専決承認の件
 第3号議案 第2回定例理事会(8/6)附議議案承認の件

【協議交流事項】

- (1) 総会の振返り(運営の件、議事録の件)
- (2) 暮らし安全安心課との交流について(8月6日 15:00-17:00)
- (3) 暮らし安全安心課との懇親会について(口頭協議)

【報告事項】

- (ア) 「月度の定例報告」及び月次決算報告(5月6月度)
- (イ) 労福協の署名に関するご案内

● 7月3日(水) 第1回 暮らし部会

2024年度の学習会のテーマについて話し合いを行いました。今年度は「プラスチック問題」をテーマに、学習会、ワークショップ、振り返りと年間を通してひとつのテーマを学び実践することになりました。

併せて、秋に開催する「第19回 うつのみや食育フェア」についての会場が変更となる報告や出展に関する交流を行いました。

2. 行政関連

● 7月23日(火) とちぎグリーン農業推進協議会

第一回推進協議会が開催されました。2023年3月に策定された「とちぎグリーン農業推進方針」の2023年度取り組み実績が県より報告され、後半では3団体から取り組みの事例報告がありました。

県からの報告では、主な目標値の(1)、「水田を中心とした持続可能な生産システムの確立」について、耕畜連携の学習会やコーディネーターの設置、Jクレジット活用の生産者学習、バイオ炭の活用やもみ殻

利用の実態調査が報告されました。目標値(2)の「平場から中山間地まで地域の特徴を生かした有機農業の拡大」では、有機農業農家の拡大や有機農法マニュアル策定、シンポジウム開催、販路の拡大調査などが報告されました。目標値(3)「とちぎ脱炭素型次世代園芸の推進」では、天敵資材の活用、紫外線利用による予防などの報告がありました。

事例報告では、JA全農の16項目にわたる環境負荷低減の栽培指導、肥料農薬の開発、環境負荷低減の物流システムの取り組みが報告され、小山市の報告は学校給食での有機栽培米活用について協議会をもったことや販売路の取り組みが報告されました。市貝町からは、就農者育成の取り組みや先進農家の視察活動、道の駅での販路拡大、学校給食での利用事例などが報告されました。

参加の感想として、この取り組みに何らかの形で生協が役割発揮できればと感じました。



- 7月9日(火) 第32回とちぎ食の安全・安心推進会議

「とちぎ食の安全・安心・信頼性の確保に関する基本計画(4期計画)」の2023年度の実績報告がありました。また、食品衛生監視指導計画に基づいた実施状況について合わせて報告がありました。新型コロナウイルス感染症が5類になったことから全体的に予定通りの進行となっていました。

- 7月10日(水) 食料・農業・農村基本法改正に関する説明会 (Zoom)

今年度、法改正となった「食料・農業・農村基本法」について、農林水産省による全国キャラバンが始まりました。初回の開催では、多くの農業従事者から多数の質問が上がり、国民の興味の度合いが感じられました。今後、全国各地での説明会が開催されます。

3. 防災

- 7月1日(月)とちぎ災害ボランティアネットワーク会議

栃木県社会福祉庁議会主催で開催されました。県内の協働事例として、宇都宮市災害支援ネットワーク会議の取組みについての発表がされ、その後、実際に災害が起きた場合の運営時の支援課題とお互いの強みを活かした連携についてグループワークを行いました。

- 7月12日(金) 第2回 栃木県・矢板市総合防災訓練会議

第2回目の全体会議が矢板市スポーツ複合施設で開催されました。訓練当日の具体的なタイムテーブルや駐車場などに関する情報が提示されました。説明後、各団体に分かれ細かい打合せや質問などが行われました。

- 7月18日(木) 中央地連大規模災害対策協議会 2024年度第1回全体会議

渋谷コーププラザにて開催されました。大規模災害対策協議会委員長の選任や運営体制、開催日程の確認の他、2023年度まとめと2024年度の活動計画「広域連携プログラム」の取り扱いについて、能登半島地震ボランティア活動についての報告がされました。その後、各会員の報告や質問など意見交流を行いました。

4. その他

- 7月22日(月) 栃木県消費生活安定対策審議会

令和5年度の消費生活相談状況、第2期(令和3年度～令和7年度)栃木県消費者基本計画における令和5年度の実績及び令和6年度の主な取組について、第3期(令和8年度～令和12年度)栃木県消費者基本計画の策定について栃木県生活文化スポーツ部くらし安全安心課より説明がされ、意見要望や質疑を行いました。

令和5年度は、通信販売での相談件数が多く、デジタルにまつわる詐欺的な手口による被害が急増しました。第3期の策定に向け、素案の意見聴取やパブリックコメント等を行います。

- 7月23日(火) 第1回中央地連・部会運営委員会

全体概況報告からは、6月度概況報告、コープ共済連進捗報告、運営関係からは、通常総代会の開催報告、「生協の2030環境・サステナビリティ政策に関する到達点と今後の取組み」、「みんなのよみきかせ絵本大賞」企画への協賛・参加のお願い、JCA2025国際協同組合年全国実行委員会」設立について、インターネット等を活用した総(代)会開催における留意事項等について

ネットワーク活動

1. とちぎ食の安全ネットワーク

● 7月26日(金) とちぎ食の安全ネットワーク 2024年度第1回学習会 <参加者50名>

■演題：栄養や保健機能を巡る制度

—いわゆる『健康食品』で健康維持はできるか—

■講師：日本生活協同組合連合会

品質保証本部 鬼武 一夫 氏

今年問題となった紅麹に関する経過や現状、特定保健用食品、栄養機能食品、機能性表示食品とその他の「健康食品」との違い、それぞれの制度比較や、機能性表示食品制度の見直し内容や施行期日などについても表を用いて分かりやすくご説明を頂きました。

健康維持のためには「バランスの取れた食事」を中心として進めること、WHOが推奨する健康のためのフードシステムなどをお聞きし、世界と日本の食品安全に対する考え方の違いなどについて改めて考えさせられる学習会となりました。



2. とちぎ消費者ネットワーク

● 7月2日(火)とちぎ消費者ネットワーク 幹事会

毎年実施している、栃木県消費者行政推進室との意見交換会を開催しました。

1. 栃木県生活文化スポーツ部くらし安全安心課 消費者行政推進室との意見交換会

●ご報告：消費者行政推進室 室長 高山 美幸 氏

副主幹 山内 暁美 氏

主査 阿久澤 由紀子 氏

主任 赤羽 悠 氏

- ・令和5(2023)年度県内の消費生活相談状況について
- ・栃木県消費者基本計画【第2期】※R3~7年度まで
- ・質疑、意見交換

2. 「とちぎ消費者カレッジ」進捗状況

3. 各参加団体からの活動報告

● 2024年度 とちぎ消費者カレッジ開催報告

開催日・開催校	講師	演題	人数
7月8日(月) 栃木県立衛生福祉大学	山口益弘法律事務所 弁護士 山口 益弘 氏	若者が巻き込まれやすい消費者トラブルについて	63名
7月16日(火) 栃木県立衛生福祉大学	山口益弘法律事務所 弁護士 山口 益弘 氏	若者が巻き込まれやすい消費者トラブルについて	48名
7月16日(火) 文星芸術大学	栃木県在住消費生活アドバイザー連絡協議会 会長 伊藤 延子 氏	知っておこう！ネットトラブル ～事例と対処法～	96名
7月17日(水) 作新学院大学	栃木県在住消費生活アドバイザー連絡協議会 会長 伊藤 延子 氏	賢い消費者になるために ～消費者トラブル事例と対処法～	28名
7月18日(木) 栃木県立衛生福祉大学	山口益弘法律事務所 弁護士 山口 益弘 氏	若者が巻き込まれやすい消費者トラブルについて	66名

栃木県生協連 2024年8月度、9月度の活動予定

2024年8月1日(木)

2024年8月度予定	
1日(木)	第2回 食の安全ネットワーク 世話人会 MCA無線訓練
2日(金)	第3回 栃木県・矢板市総合防災訓練会議
6日(火)	第2回定例理事会 栃木県生活文化スポーツ部くらし安全安心課 との意見交換会
7日(水)	カーボンニュートラル推進会議
8日(金)	栃木県協同組合連絡会 事前打ち合わせ
20日(金)	消費者カレッジ収録 (足利大学 看護学部)
28日(水)	生協総研研究会オンライン(戦争と平和、生協の歴史)
2024年9月度予定	
1日(日)	栃木県・矢板市総合防災訓練
2日(月)	栃木県協同組合連絡会 学習会
3日(火)	第3回とちぎ消費者ネットワーク幹事会
6日(金)	プラスチック資源循環推進協議会
9日(月)	第2回くらし部会
10日(火)	第2回常務理事会
12日(木)	とちぎ食の安全ネットワーク 第2回学習会
19日(木)	消費者カレッジ収録 (宇都宮大学)
20日(金)	～21日(土) 日本生協連中央地連 県連活動交流会
24日(火)	日本生協連中央地連 県連活動推進会議 運営委員会
26日(木)	消費者カレッジ (那須看護専門学校)
30日(月)	くらし部会 学習会

栃木県生活協同組合連合会